

# 街発見レポート

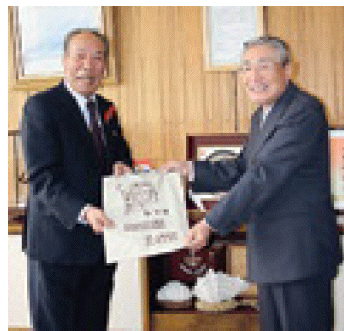
身近なできごと、話題・スポーツ情報などお寄せください。  
あて先・広報情報係 ☎ 3・3131 内線 214



## 全道3位おめでとう！

広報紙「根北峠」

中斜里駐在所の木村尚哉巡査部長が編集・発行している警察ミニ広報紙「根北峠」が交番・駐在所広報活動コンクールで全道3位に入賞しました。また、今回の入賞を讃え、斜里地区警察官友の会（永田次男会長）からも表彰されました。



## 図書の貸出にどうぞ。

日専連網走会が寄贈

10月20日、日専連網走会（阿部恵一理事長）から、シマフクロウが本を読む姿がデザインされた図書バッグ600枚が寄贈されました。9月末で斜里支店が閉鎖したことに伴い、これまでの感謝の気持ちとして、寄贈されたものです。図書館では、本を借りる時に、希望者にお貸しする予定です。

## 釣り人のマナーに警鐘。

漁業者らが鮭の放置された海岸を清掃

10月19日、オクシベツ川河口付近で、斜里第一漁組の呼びかけで漁業関係者など約100名が、鮭の放置された砂浜や川などを清掃しました。マナーの悪い釣り人の密漁、不法投棄で汚れてしまった大切な浜辺は、見るも無惨な状態でしたが、1時間あまりの清掃活動で、元のきれいな浜辺に戻りました。集められた鮭は、重量にして12.7トンもありました。



## 故郷談議に華が咲く 札幌・東京ふるさと斜里会

9月25日、第22回札幌ふるさと斜里会（佐藤公三会長）がホテルKKR札幌で開かれ、98名の参加者がありました。

また10月9日には、第11回東京ふるさと斜里会（藤枝和博会長）が中野サンプラザで開かれ、台風が接近する中、64名の参加者がありました。

どちらの会場でも、ふるさとを懐かしむ話題で盛り上がりつつありました。



東京ふるさと斜里会の様子



札幌ふるさと斜里会の様子



開会式にご出席されるため、高円宮妃久子様が来道されました。100㎡ハウスや知床五湖などを視察され、100㎡運動の森トラストにもご参加されました。

## 今年も植樹、「やってる、やってるー」

10月10日、イオン環境財団による植樹ボランティアが100㎡運動地内で行われ、110名の参加者がミズナラやカシワなどの広葉樹830本を植樹しました。同財団の植樹ボランティアは今年が3年目です。今年は、自然保護を訴える包装紙で募金を募り、環境保全に役立てるラッピング募金の、シマフクロウ包装紙のデザインを担当する、タレントで画家のジミー大西さんも植樹に参加しました。

## 自然が創り出す芸術を堪能。490人が紅葉ウオーク。

10月9日、「知床を世界自然遺産に」知床紅葉ウオーク実行委員会の主催で、知床紅葉ウオークが開催されました。世界自然遺産に推薦された知床を秋を楽しもうと、全国から約490人も参加者がこの地を訪れました。ウオークは、ウトロを出発し横断道路を全て歩く25kmと知床峠から羅臼まで15kmの2コース。参加者は、時折、色とりどりの紅葉に目を奪われ、足を止めたり、カメラのファインダーをのぞきこんだりしていました。



## 豪快、神秘の岬。

「知床の岬に はまなすの咲く頃...」(知床旅情より)

この豪快な書は、朱円出身で札幌市在住の書家、芳賀修岳(本名:修平)さんの作品です。知床が世界遺産に推薦されたのを記念して町に寄贈していただきました。10月1日、弟の芳賀力さん(朱円西)から町長に手渡されました。この作品は11月3日の文化の日に、ゆめホール知床でご披露する予定です。



9/26(日) しれとこ産業まつり  
10/17(日) 暮らしの安全まつり **開催。**

第25回しれとこ産業まつりがみどり工房しゃりで開かれ、鮭やタコのつかみ取りなど、実りの秋を実感していました。



第3回暮らしの安全まつりがゆめホール知床で開かれ、楽しみながら安心・安全のまちづくりを学びました。

## 交通安全に役立てて。

川上さつき会が寄贈

川上さつき会(三宅清次代表)から交通安全の啓蒙用として、交通安全標語入りしおりが寄贈されました。役場や図書館など各施設の窓口で配布していますので、ぜひご利用ください。



## たくさんの記念切手。

斜里郵便切手販売協会が寄贈

10月7日、斜里郵便切手販売協会(遠藤日出男会長)から、39年前に発行された知床国立公園指定記念切手シートが寄贈されました。5千枚以上もの貴重な切手は、有効に活用させていただきます。

